

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウェッズ
 コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川口 修
 (氏名) 上村 定芳

TEL 03-5753-8201

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,571	7.1	196	141.1	181	160.8	90	388.7
23年3月期第1四半期	4,267	13.1	81	50.2	69	15.6	18	△24.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △15百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △146百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	21.49	—
23年3月期第1四半期	4.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	10,947	6,558	59.9	1,561.84
23年3月期	11,938	6,658	55.8	1,585.60

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,558百万円 23年3月期 6,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,600	△2.7	120	42.9	110	74.7	55	667.9	13.09
通期	21,500	0.8	580	4.9	550	2.6	270	26.4	64.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	4,445,000 株	23年3月期	4,445,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	245,841 株	23年3月期	245,841 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	4,199,159 株	23年3月期1Q	4,199,238 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、本年1月以降景気の足踏み状態から脱却するかに見えますが、3月に発生した東日本大震災及び福島第1原発問題に伴う節電の影響で、個人消費の低迷、輸出の減少等で今後の景気回復や企業業績の業況に先行き不透明な状況になりました。また、海外の情勢においても、ギリシャの財政危機を引き金とした欧州財政不安、原油や非鉄金属等の国際商品市況の高騰、北アフリカ・中東情勢の緊迫化、さらには円高の進行により予断を許さない状況が続いております。当社グループと密接な関係にある自動車業界や自動車用品のアフターマーケットの需要も同様に低調に推移しております。

このような環境において、当社グループは積極的な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は自動車関連卸売事業の増収により4,571百万円（前年同期比7.1%の増収）、営業利益は自動車関連卸売事業の増益により196百万円（前年同期比141.1%の増益）、経常利益は181百万円（前年同期比160.8%の増益）、四半期純利益は90百万円（前年同期比388.7%の増益）の増益になりました。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連卸売事業	自動車関連小売事業	開発事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第1四半期連結累計期間	3,910	325	—	175	180	△20	4,571
	前第1四半期連結累計期間	3,527	316	125	176	147	△26	4,267
セグメント利益又は損失(△)	当第1四半期連結累計期間	199	△10	—	0	6	0	196
	前第1四半期連結累計期間	99	△32	△4	26	△8	0	81

当第1四半期連結累計期間より、事業セグメントの利益（又は損失）の測定方法を変更いたしました。内容及び影響額につきましては、「4. 四半期連結財務諸表（4）セグメント情報等」をご参照ください。

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業は個人消費は依然として低迷していますが、売上高は3,910百万円となり前年同期比382百万円（10.9%）の増収となりました。これは、今年発表した高・中級アルミホイールの売上が好調に推移したことと、カー用品の売上が増加したためであります。したがって、セグメント利益は199百万円となり前年同期比99百万円（99.7%）の増益となりました。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業は個人消費は依然として低迷していますが、売上高は325百万円となり前年同期比8百万円（2.8%）の増収となりました。セグメント損失は10百万円となり前年同期より22百万円の改善となりました。

(開発事業)

平成23年4月1日を以って開発事業より撤退しました。

受注元の会社方針の変更により、受注元社内で機械等の発注及びメンテナンス管理等を内製することとなったためであります。

(福祉事業)

福祉事業の売上高は、175百万円となり前年同期比0百万円（0.0%）の減収となりました。セグメント利益は0百万円となり前年同期比25百万円（96.3%）の減益となりました。売上高については、老人ホーム事業は入居者も増え順調に推移しているものの、デイサービス及びショートステイ事業が前年同期と比べて減少したためであります。

(その他)

携帯電話代理店事業の売上高は、157百万円となり前年同期比18百万円（13.0%）の増収、昨年4月より開始した賃貸事業は22百万円となり前年同期比14百万円（174.9%）の増収、合わせて180百万円となり前年同期比32百万円（22.1%）の増収となりました。これは新型携帯電話への新規需要が順調に推移しているためであります。セグメント利益は6百万円となり前年同期比14百万円の改善となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産額は10,947百万円となり、前連結会計年度末比990百万円の減少となりました。主たる要因は、売掛債権の回収期にあたり、受取手形及び売掛金の減少等、流動資産の減少によるものです。負債総額は4,389百万円となり前連結会計年度末比891百万円の減少となりました。主たる要因は仕入債務及び短期借入金等の流動負債の減少であります。これらの結果、純資産額は6,558百万円となり前連結会計年度末比99百万円の減少となりました。主たる要因は繰延ヘッジ損益の減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年5月11日付当社「平成23年3月期決算短信」にて発表いたしました平成24年3月期の第2四半期累計期間（連結・個別）および平成23年3月期通期（連結・個別）の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,232	772,901
受取手形及び売掛金	2,824,576	2,211,410
商品	1,593,377	1,699,170
仕掛品	214,733	181,433
原材料及び貯蔵品	81,586	73,994
繰延税金資産	208,859	234,124
その他	361,844	255,881
貸倒引当金	△3,100	△6,302
流動資産合計	6,338,109	5,422,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,597,611	3,597,611
減価償却累計額	△1,377,117	△1,407,948
建物及び構築物（純額）	2,220,493	2,189,663
土地	1,705,150	1,705,150
その他	600,751	607,678
減価償却累計額	△435,888	△443,728
その他（純額）	164,863	163,950
有形固定資産合計	4,090,507	4,058,764
無形固定資産		
のれん	178,300	173,975
その他	89,874	84,127
無形固定資産合計	268,174	258,102
投資その他の資産		
投資有価証券	703,747	677,081
繰延税金資産	33,801	33,898
その他	507,452	497,779
貸倒引当金	△2,850	△250
投資その他の資産合計	1,242,151	1,208,509
固定資産合計	5,600,832	5,525,375
資産合計	11,938,942	10,947,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,032,686	868,325
短期借入金	1,539,926	1,059,926
未払法人税等	169,874	20,988
携帯電話短期解約返戻引当金	92	112
賞与引当金	149,527	67,699
役員賞与引当金	32,200	6,350
その他	596,156	674,940
流動負債合計	3,520,464	2,698,341
固定負債		
長期借入金	1,132,538	1,107,538
繰延税金負債	84,495	108,106
退職給付引当金	57,227	56,908
役員退職慰労引当金	141,446	71,781
資産除去債務	18,918	19,026
その他	325,661	327,864
固定負債合計	1,760,287	1,691,225
負債合計	5,280,752	4,389,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	802,090	802,090
利益剰余金	5,123,406	5,129,682
自己株式	△96,131	△96,131
株主資本合計	6,682,114	6,688,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,066	15,851
繰延ヘッジ損益	△48,379	△148,045
為替換算調整勘定	1,388	2,224
その他の包括利益累計額合計	△23,924	△129,969
純資産合計	6,658,190	6,558,421
負債純資産合計	11,938,942	10,947,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	4,267,431	4,571,579
売上原価	3,303,514	3,512,207
売上総利益	963,917	1,059,371
販売費及び一般管理費	882,283	862,545
営業利益	81,633	196,826
営業外収益		
受取利息	142	163
受取配当金	5,681	3,375
その他	1,044	1,536
営業外収益合計	6,867	5,074
営業外費用		
支払利息	9,393	7,901
持分法による投資損失	1,997	7,894
為替差損	6,400	4,118
その他	1,074	364
営業外費用合計	18,864	20,279
経常利益	69,637	181,622
特別損失		
固定資産除却損	3,174	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,917	—
特別損失合計	16,091	—
税金等調整前四半期純利益	53,545	181,622
法人税、住民税及び事業税	23,595	19,800
法人税等調整額	11,479	71,562
法人税等合計	35,075	91,362
少数株主損益調整前四半期純利益	18,469	90,259
四半期純利益	18,469	90,259

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,469	90,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,823	△7,214
繰延ヘッジ損益	△152,671	△99,665
為替換算調整勘定	1,330	835
その他の包括利益合計	△165,163	△106,044
四半期包括利益	△146,694	△15,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146,694	△15,785

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	開発事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,501,268	316,444	125,828	176,009	4,119,550	147,881	4,267,431	—	4,267,431
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	26,094	87	—	—	26,181	—	26,181	(26,181)	—
計	3,527,362	316,531	125,828	176,009	4,145,731	147,881	4,293,613	(26,181)	4,267,431
セグメント利 益又は損失 (△)	99,666	△32,410	△4,614	26,833	89,474	△8,510	80,963	670	81,633

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額670千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書計上 額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,889,774	325,263	175,972	4,391,011	180,568	4,571,579	—	4,571,579
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	20,349	179	—	20,528	44	20,573	(20,573)	—
計	3,910,123	325,443	175,972	4,411,539	180,612	4,592,152	(20,573)	4,571,579
セグメント利 益又は損失 (△)	199,042	△10,201	989	189,829	6,342	196,172	653	196,826

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額653千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 主な事業内容の変更に伴う報告セグメントの変更等

平成23年4月1日を以って開発事業より撤退しました。

受注元の会社方針の変更により、受注元社内で機械等の発注及びメンテナンス管理等を内製することとなったためであります。

(2) 事業セグメントの利益(又は損失)の測定方法の変更

前連結会計年度まで、連結子会社(株)バーデンの管理部門に係る営業費用は、各セグメントの売上高比率により配賦をしておりましたが、当連結会計年度より、開発事業の撤退に伴い、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に配賦方法を再検討した結果、従業員の就業時間比率により配賦を行う方法に変更いたしました。

なお、この変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益は自動車関連小売事業で1,703千円、開発事業で9,395千円、その他の事業で2,344千円増加し、福祉事業で13,443千円減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。